

都市・地域交通の歴史・現状・未来—社会に必要とされる交通のあり方を学ぶ—

准教授 恩 田 睦

1. 研究内容

みなさんの多くは“都市交通”や“地域交通”と聞くと、電車・地下鉄、自動車を思い起こすと思います。ただ、それだけでなく自転車や歩行者もまた交通を構成する要素になります。近年では日本を含めた世界各国の各都市・地域において、環境に配慮しつつ人々がより安全かつ便利に移動できるような仕組みが作り上げられています。

今日では成功例として知られている取り組みについても、過去を振り返って検証すると課題発見→解決を繰り返してより良い仕組みを構築してきたところは少なくありません。当演習では文献や資料読解を中心に都市・地域交通の論点を学習します。また、実際の地域交通運営の現状を理解してもらうために交通事業者とのフィールドワークも実施します。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期は、基本文献の読解を通じて、基礎的な知識を習得し、発表・議論に慣れてもらう。

秋学期は、春学期の内容に加えて、担当教員が指示した課題について議論し、レポートを作成する。

合宿：夏季休暇中に実施する予定。また、東京近郊の交通事業の現場におけるフィールドワークを実施することがある。

《3年次》

春学期は、具体的なテーマを対象として、グループ研究を行う。

秋学期は、具体的なテーマを対象として、個人研究を行う。

合宿：夏季休暇中に実施する予定。また、東京近郊の交通事業の現場におけるフィールドワークを実施することがある。

《4年次》

春学期は、具体的なテーマを対象として、卒業論文を意識した個人研究を行う。

秋学期は、卒業論文の執筆と指導を行う。

3. 教 材 ※履修者の相談のうえテキストを変更することがあります。

・那須野育大『日本鉄道業の事業戦略—鉄道経営と地域活性化』（白桃書房）2015年。

・田邊勝巳『交通経済のエッセンス』（有斐閣ストゥディア）2017年。

※その他の参考文献・資料については適宜紹介・解説します。

4. 成績評価の方法

以下の2項目を中心に総合的に評価します。

・ゼミへの貢献度：ゼミテーマに対する関心・態度，発言・議論への参加など。

・発表・課題：発表資料の内容，課題レポートの内容など。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

当ゼミでは、都市・地域交通に関する座学とフィールドワークを通じて、4年次で卒業論文を執筆してもらいますが、それだけでなく合宿などのイベントにも積極的に参加する“メリハリ”をつけたゼミ活動を希望する方の来室をお待ちしています。恩田演習室の案内を最後まで読んでいただきありがとうございました。なお、人数等によりゼミの進め方が変更になることがあります。